

牛群検定通信 No116

～ 除籍理由 ～

毎月の検定成績表の1枚目の中央下部には除籍理由をまとめたものが掲載されています。検定の都度に検定員に一頭一頭の除籍した理由を伝えるのは面倒とお感じの方もいらっしゃるかも知れませんが、除籍理由は農家の経営改善にとって最も重要な情報のひとつです。

1 除籍理由の活用

長命連産が叫ばれる現代酪農にとって牛を直接淘汰してしまう除籍は重大事です。牛一頭がいなくなれば、数十キロの乳量が減少し年間では数千キロに及ぶ損失となります。ちょっとした飼養管理の差で数キロの乳量を減少させることとはレベルが異なります。

このように考えて頂ければ、検定成績表により自身の牛群で発生しやすい病気を除籍理由から把握し、対策をねることは極めて重要です。検定成績には各種いろいろな数字が掲載されていますが、一番最初に見て頂きたい数値です。

2 除籍理由の報告の具体例

除籍理由は、以下のとおり適応具体例が定められていますので、この中から最も近い事例を検定員に伝えて下さい。コードはハンディーターミナル（A R K 4 0 0 / 5 5 0）の報告コードです。

- 5 0 乳用売却：売却先でも搾乳されることを期待される牛の売却による除籍（個体販売）。搾乳施設の不足などにより健康な牛を売却した場合を含みます。
- 5 1 乳房炎：乳房炎、体細胞数の高い牛の淘汰
- 5 2 乳器障害：乳器損傷、乳房浮腫などによる淘汰
- 5 3 繁殖障害：卵巣のう腫、胎盤停滞、子宮内膜炎、双子分娩などにより結果として受胎しない牛の淘汰
- 5 4 肢蹄の故障：骨折、脱臼、蹄葉炎、蹄底潰瘍、蹄球びらん、趾間腐乱、蹄球炎による牛の淘汰など
- 5 5 消化器病：第四胃変位、ルーメンアシドーシス、鼓脹症、ケトーシスなどによる牛の淘汰
- 5 6 起立不能：乳熱、低カルシウム血症、ダウナーなどによる淘汰、分娩時以外の起立不能を含む
- 5 8 低能力：低乳量、低乳成分、悪癖を持つ牛や気性の悪い牛の淘汰を含む
- 5 9 死 亡：突然死、選択肢にない疾病（伝染病、遺伝病、寄生虫、白血病など）により、と畜処分した牛を含む